

# 令和7年度 とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1105
施設名	中野南台ちとせ保育園
施設所在地	東京都中野区南台2-1-5
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

音を通して非認知能力の育成
---------------

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 自園でも非認知能力を育成している中で、相手に合わせる、その力をさらに自己肯定感につなげられるような活動を取り入れていきたい。
--

## 2. 活動スケジュール

9:30~9:50 2歳児クラス 9:50~10:20 3歳児クラス 10:20~10:50 4歳児クラス 10:50~11:30 5歳児クラス
---

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) ・落下物がないかの確認 ・身体を動かすために十分なスペースの確保 ・楽しく安全に参加できるような雰囲気づくり
---

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・音楽に合わせた準備体操や柔軟体操をする。
- ・ダンスの振り付けを教わり、友だちと合わせて踊る。
- ・講師と話しながらダンスの振り付けを考える。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- 2歳児：よく耳にする親しみのある音楽や真似をしやすい動きと、傍で楽しむ保育士の表情などから一緒に動く事を喜び、意欲的に真似をして参加していた。
- 3歳児：体を動かしたくなるような声かけや、保育士の動き等、視覚的なイメージのもちやすいアプローチに対して、真似し、その様子を褒めたり、認めることで、より活発に身体を動かすことを楽しんでいた。
- 4歳児：振りを覚え、できるようになることで、より興味を深め、保育士やダンス講師の声掛けにより、一緒に合わせたり踊る事に意欲的に身体を動かして楽しんでいた。
- 5歳児：連続性のある振り付けを繰り返し行う事で、覚えて踊ることが出来、分かる事で、より積極的な行動が見られた。また、保育士やダンス講師から子どもの姿を認め、指導をして行くことで、伸び伸びと身体を動かし、リズム感がつき、周りと合わせようとする協調性が育まれた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

- 2歳児：意欲を引き出すことは＝興味を深める、楽しむことだと感じた。普段の活動の中でも、その視点での子どもたちへのアプローチが出来たら良いなと感じた。また、回数を重ねていくことで、飽きてしまう子どもがほとんどいなかった。今後も継続していきたい。
- 3歳児：保育士の意向を汲み取りながら子どもたちになった声掛けをしていただき、また、担任ではない大人と過ごす貴重な時間から、子どもたちの「一緒に楽しむ」事への気持ちがつながったように感じた。わかりやすく丁寧に教えていただいたことで、音楽に合わせて身体を動かし、一人ひとりが楽しさや達成感を感じられていた。
- 4歳児：分かりやすく、且つ、興味を深めるための対話を大事にしながら講師が進めてくださったことが、子どもたちにとっても身近に感じ、さらに意欲的になれるきっかけになったように感じる。また、繰り返していくことで、保育士も子どもたちも「積み重ねていく」ことはとても大切であり、大きな役割を持っていたように感じた。とても楽しみながら活動を行っていた事が印象的だった。
- 5歳児：出来るようになっていく事が、子どもたち自身も「楽しい」と実感し、意欲的な姿から興味を通して、関心へと移行したように思う。また、講師の一举一動に対して、集中する場面もあり、「できるようになりたい」「もっとやってみたい」という姿が多くみられた。この事は、やはり「声かけ」やできた時の「共感する言葉や表情」はとても大切だと感じた。楽しい雰囲気の中で、練習ができたので良かった。今回も子どものやりたいことを取り入れてもらったことで、達成感を味わいながら行うことが出来ていた。